

流域治水プロジェクト(案)について

～吉井川水系・旭川水系～

令和3年3月18日
中国地方整備局岡山河川事務所

近年、毎年のように全国各地で自然災害が頻発

平成27
〜
29年

平成27年9月関東・東北豪雨



①鬼怒川の堤防決壊による浸水被害
(茨城県常総市)

平成28年熊本地震



②土砂災害の状況
(熊本県南阿蘇村)

平成28年8月台風10号



③小本川の氾濫による浸水被害
(岩手県岩泉町)

平成29年7月九州北部豪雨



④桂川における浸水被害
(福岡県朝倉市)

平成30年

7月豪雨



⑤小田川における浸水被害
(岡山県倉敷市)

台風第21号



⑥神戸港六甲アイランドにおける浸水被害
(兵庫県神戸市)

北海道胆振東部地震



⑦土砂災害の状況
(北海道勇払郡厚真町)

令和元年

房総半島台風



⑧電柱・倒木倒壊の状況
(千葉県鴨川市)

東日本台風



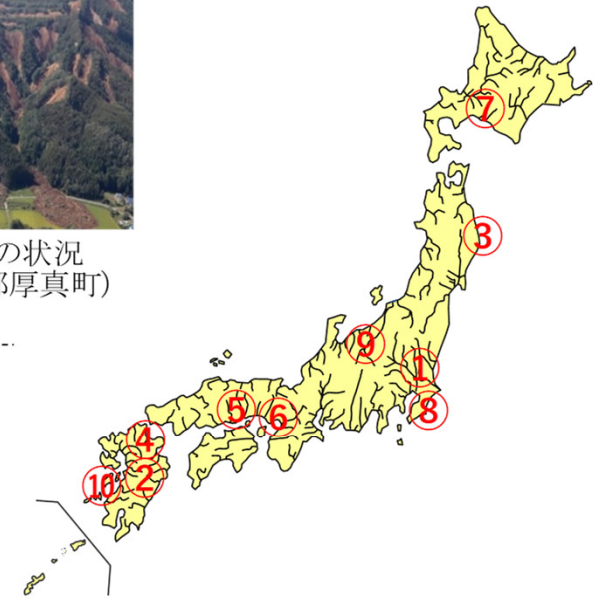
⑨千曲川における浸水被害状況
(長野県長野市)

令和2年

7月豪雨



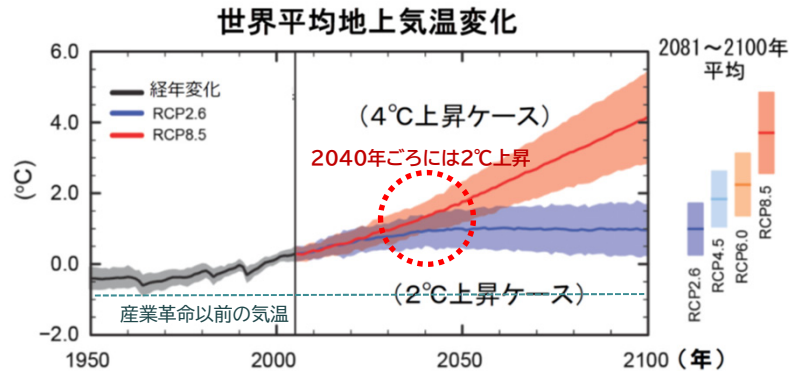
⑩球磨川における浸水被害状況
(熊本県人吉市)



気候変動による水災害の激甚化・頻発化が懸念

- IPCC(国連気候変動に関する政府間パネル)の第5次評価報告書では、2040年ごろには、産業革命前と比べて**気温が2℃上昇すると予測**。
- 国土交通省の有識者会議において、気温が2℃上昇した場合、**洪水時の河川流量は1.2倍、洪水の発生頻度は2倍になると試算**。

- 国連IPCCの気候変動シナリオでは、2040年ごろには、産業革命前と比べて**気温が2℃上昇**



出典:IPCC第5次報告書WG1をもとに作成

- 気温が2℃上昇した場合、降雨量、河川の流量は増加し、洪水発生頻度は2倍

気候変動シナリオ	降雨量	流量	洪水発生頻度
2℃上昇相当※	約1.1倍	約1.2倍	約2倍

※ 2℃は、温室効果ガスの排出抑制対策(パリ協定)の目標とする気温。降雨量等の倍率は、全国1級水系の平均値。

出典:国土交通省「気候変動を踏まえた治水計画のあり方」をもとに作成

【吉井川の例】

- ◆ 気温が2℃上昇した場合、吉井川の流量は、

現行基本高水
11,000m³/s



気候変動後
13,200m³/s

※岩戸地点の流量。気候変動後は単純に流量を1.2倍した値。

- ◆ 気温が2℃上昇した場合、吉井川の計画規模(L1)の発生頻度(年超過確率)は、

現行基本方針
1/150



気候変動後
1/75 (2/150)

※気候変動後は単純に頻度を2倍した値。
※1/150とは、ある年に、その規模の洪水が発生する確率が1/150。

「流域治水」の考え方

- 災害からの被害を防止・軽減するためには、「**氾濫をできるだけ防ぎ、被害対象となる人命・財産を減らし、残る被災対象には備え**」をしておくことが重要。
- こうした対策を、**流域のあらゆる関係者が連携**して備えることが「流域治水」の考え方。

①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雨水貯留機能の拡大

[国・市、企業、住民]

雨水貯留浸透施設の整備、
ため池等の治水利用

流水の貯留

[国・県・市・利水者]

治水ダム建設・再生、
利水ダム等において貯留水を
事前に放流し洪水調節に活用

[国・県・市]

土地利用と一体となった遊水
機能の向上

持続可能な河道の流下能力の維持・向上

[国・県・市]

河床掘削、引堤、砂防堰堤、
雨水排水施設等の整備

氾濫水を減らす

[国・県]

「粘り強い堤防」を目指した
堤防強化等

②被害対象を減少させるための対策

リスクの低いエリアへ誘導／

住まい方の工夫

[国・市、企業、住民]

土地利用規制、誘導、移転促進、
不動産取引時の水害リスク情報提供、
金融による誘導の検討

浸水範囲を減らす

[国・県・市]

二線堤の整備、
自然堤防の保全

流域治水のイメージ



③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

土地のリスク情報の充実

[国・県]

水害リスク情報の空白地帯解消、
多段階水害リスク情報を発信

避難体制を強化する

[国・県・市]

長期予測の技術開発、
リアルタイム浸水・決壊把握

経済被害の最小化

[企業、住民]

工場や建築物の浸水対策、
BCPの策定

住まい方の工夫

[企業、住民]

不動産取引時の水害リスク情報
提供、金融商品を通じた浸水対
策の促進

被災自治体の支援体制充実

[国・企業]

官民連携によるTEC-FORCEの
体制強化

氾濫水を早く排除する

[国・県・市等]

排水門等の整備、排水強化

岡山三川における「流域治水への転換」に向けた第1回協議会を開催！

- 吉井川、旭川、高梁川における「流域治水への転換」を目的に、令和2年8月7日、流域内の関係自治体等による第1回協議会を開催。同日、実務担当者からなる流域治水部会を開催。
- 気候変動による水害の激甚化・頻発化に備えるため、岡山三川の各流域において、あらゆる関係者が協働して流域治水対策に取り組んでいくことを確認。
- 令和2年度末までに、流域内の市町村、県、国等が行う流域治水対策を各水系の「流域治水プロジェクト」として策定・公表し、プロジェクトに基づいて対策を推進。
- 関係自治体から、「上流自治体を含めて流域全体で地域を守る流域治水の考えは非常に有効」などの意見が出された。

【開催概要】

日時:令和2年8月7日(金) 10:00~10:30

場所:国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所(WEB開催)

議事:(1)流域治水プロジェクトの策定に向けて
(2)流域治水プロジェクトの策定に向けたスケジュール(案)について
(3)意見交換

※同日、実務担当者からなる流域治水部会をWEBにて開催

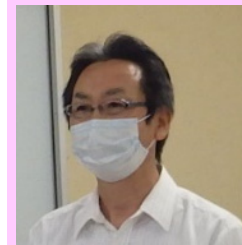


開催状況 (本会場)



開催状況 (WEB参加者)

【岡山河川事務所長 横林所長挨拶】



- 近年の水害や気候変動の影響により激甚化・頻発化する水害へ備え、流域一体となった対応が必要。
- 岡山三川では、水系全体で構成される減災対策協議会を活用し、流域内の関係者で色々なアイデアを出し合い議論し、令和3年3月末までに流域治水プロジェクトを策定・公表予定。

【構成員からの意見(意見交換)】

- 上流自治体を含めて流域全体で地域を河川氾濫から守るという流域治水の考えは非常に有効であると考えている。
- 河川整備だけではなく県や市町村が流域としてできることをやり、流域全体で取り組む一体感を醸成するために住民も参加できる取組が必要。

【構成機関】 3水系全体で、35機関



吉井川水系流域治水プロジェクト（案）【位置図】

～岡山東部の経済・歴史・文化の拠点を守る流域治水対策の推進～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、吉井川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 吉井川は、山陰・近畿を結ぶなど交通の要衝であり、流域の経済・歴史・文化の基盤を成している。一方で、下流部の岡山平野は干拓等により形成されたことからゼロメートル地帯が広がり、河川氾濫が発生すると甚大な浸水被害が発生する恐れがある。また、下流部は勾配が緩く内水被害のリスクも抱えている。
- 平成10年10月洪水では浸水被害が発生したことを踏まえ、河道掘削や堤防整備、用水路の事前水位低下による雨水貯留の他、浸水リスクを考慮したまちづくり、マイ・タイムライン等による防災教育などを推進する。
- 以下の取り組みを実施していくことで、大臣管理区間においては、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の平成10年10月洪水と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取り組みを実施し「逃げ遅れゼロ」を目指す。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・堤防整備、堤防強化、河道掘削、堰改築【岡山県、中国地整】
- ・ポンプ場の耐水化・耐震化【岡山市、津山市、赤磐市】
- ・排水ポンプの新設・増設【津山市、和気町、美咲町】
- ・雨水排水路の断面拡大【津山市、備前市】
- ・用水路から雨水管渠への取水ゲートの遠隔操作化【岡山市】
- ・可搬式排水ポンプの配備【岡山市、赤磐市、美作市】
- ・土砂流出対策施設の整備【岡山県、近畿中国森林管理局】
- ・利水ダム等13ダムにおける事前放流等の実施、体制構築【岡山県、中国電力(株)、土地改良区、中国地整等】
- ・地下貯留施設の新設【岡山市】
- ・用水路の事前水位低下による雨水貯留【岡山市】
- ・改修を行う農業用ため池について活用を検討
- ・大規模な開発行為等に伴う雨水流出抑制施設の整備に対する助成【岡山市】
- ・補助制度を活用した各戸貯留施設設置の推進【岡山市】
- ・森林の整備による洪水緩和機能の適切な発揮【岡山県、森林整備センター、近畿中国森林管理局】
- ・透水性舗装を用いた歩道整備【岡山市、中国地整】等

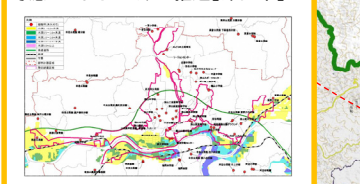
用水路の事前水位低下による雨水貯留【岡山市】



- 凡例
- 排水ポンプの新設・増設
 - ⇔ 大臣管理区間
 - 流域界
 - 浸水想定区域(計画規模)
 - 浸水想定区域(想定最大規模)



立地適正化計画に基づく浸水リスクを考慮したまちづくりの推進【津山市】



- ### ■被害対象を減少させるための対策
- ・立地適正化計画に基づく浸水リスクを考慮したまちづくりの推進【岡山市、津山市】
 - ・浸水リスクを考慮した立地適正化計画策定の検討【備前市、赤磐市】

マイ・タイムライン等による防災教育【岡山市への支援事例】



■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・止水板設置に対する助成【岡山市】
- ・避難路の整備【和気町】
- ・関係機関が連携したタイムラインの運用、改善
- ・水位計や河川監視カメラによる河川情報の提供
- ・マイ・タイムライン等による防災教育
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ・総合水防演習や講習等の実施による水防活動の強化 等

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。
 ※浸水想定区域は、洪水予報河川及び水位周知河川を表示している。
 ※図面に記載の千町川、千田川、香登川は、洪水浸水想定区域図を作成中のため、未反映。

吉井川水系流域治水プロジェクト（案）【ロードマップ・効果】

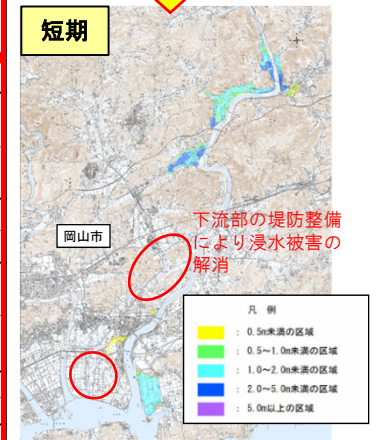
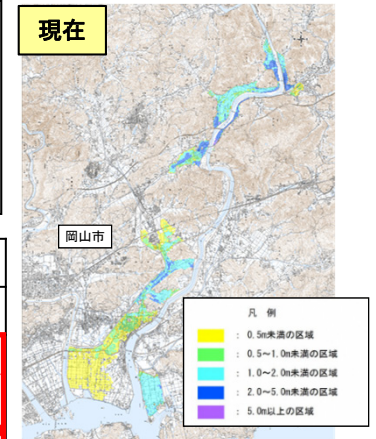
～岡山東部の経済・歴史・文化の拠点を守る流域治水対策の推進～

○ 吉井川では、上下流本支川の流域全体を俯瞰し、流域に関連する機関が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】吉井川水系下流部の浸水被害を防止・軽減するため、河道掘削、堤防整備等を実施。また、浸水リスクを考慮した立地適正化計画策定に向けた検討や計画に基づく浸水リスクを考慮したまちづくりの推進を図る。被害軽減策については、水位計や河川監視カメラによる河川情報の提供、マイ・タイムライン等による防災教育などを実施し、逃げ遅れゼロを目指す。

【中期・中長期】吉井川水系の浸水被害を防止・軽減するため、河道掘削、堤防整備、橋梁改築等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。また、立地適正化計画に基づく浸水リスクを考慮したまちづくりの推進及び上記の被害軽減策について、継続的に実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	吉井川水系下流部の浸水被害を防止・軽減するため、堤防整備・河道掘削等を実施	中国地整 岡山県	吉井川水系下流部		河川整備基本方針に向けて対策を推進
			吉井川河口部の堤防整備を推進	吉井川水系下流部(千町川・千田川・香登川)	
	吉井川水系下流・中流・上流部の浸水被害を防止・軽減するため、河道掘削、堤防整備、橋梁改築等を実施	中国地整 岡山県		吉井川水系下流部(吉井川・金剛川)	河川整備基本方針に向けて対策を推進
				吉井川水系中流・上流部(吉井川・吉野川・滝川・皿川・宮川・広戸川)	
	内水被害を軽減するため、排水ポンプの新設・増設、雨水排水路の断面拡大等を実施	岡山市、津山市、赤磐市、和気町、美咲町			
	土砂流出対策施設の整備	岡山県、近畿中国森林管理局			
	利水ダム等13ダムにおける事前放流等の実施、体制構築	岡山県、中国電力(株)、土地改良区、中国地整等			
用水路の事前水位低下による雨水貯留	岡山市				
大規模な開発行為等に伴う雨水流出抑制施設の整備に対する助成	岡山市				
被害対象を減少させるための対策	浸水リスクを考慮した立地適正化計画策定に向けた検討	岡山市、津山市、備前市、赤磐市	立地適正化計画策定済み(岡山市、津山市)		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水位計や河川監視カメラによる河川情報の提供	岡山県、中国地整	WEB配信の実施 適切な維持管理と継続的な提供(岡山県、中国地整)		
	マイ・タイムライン等による防災教育	市町村(岡山県、中国地整)	防災教育の実施(市町村) 出前講座等の実施(岡山県、中国地整)		



中期

浸水被害解消

※大臣管理区間において、平成10年10月洪水と同規模の洪水発生時の浸水範囲イメージ

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

吉井川水系流域治水プロジェクト（案）【位置図（分割版）】（1/3）

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

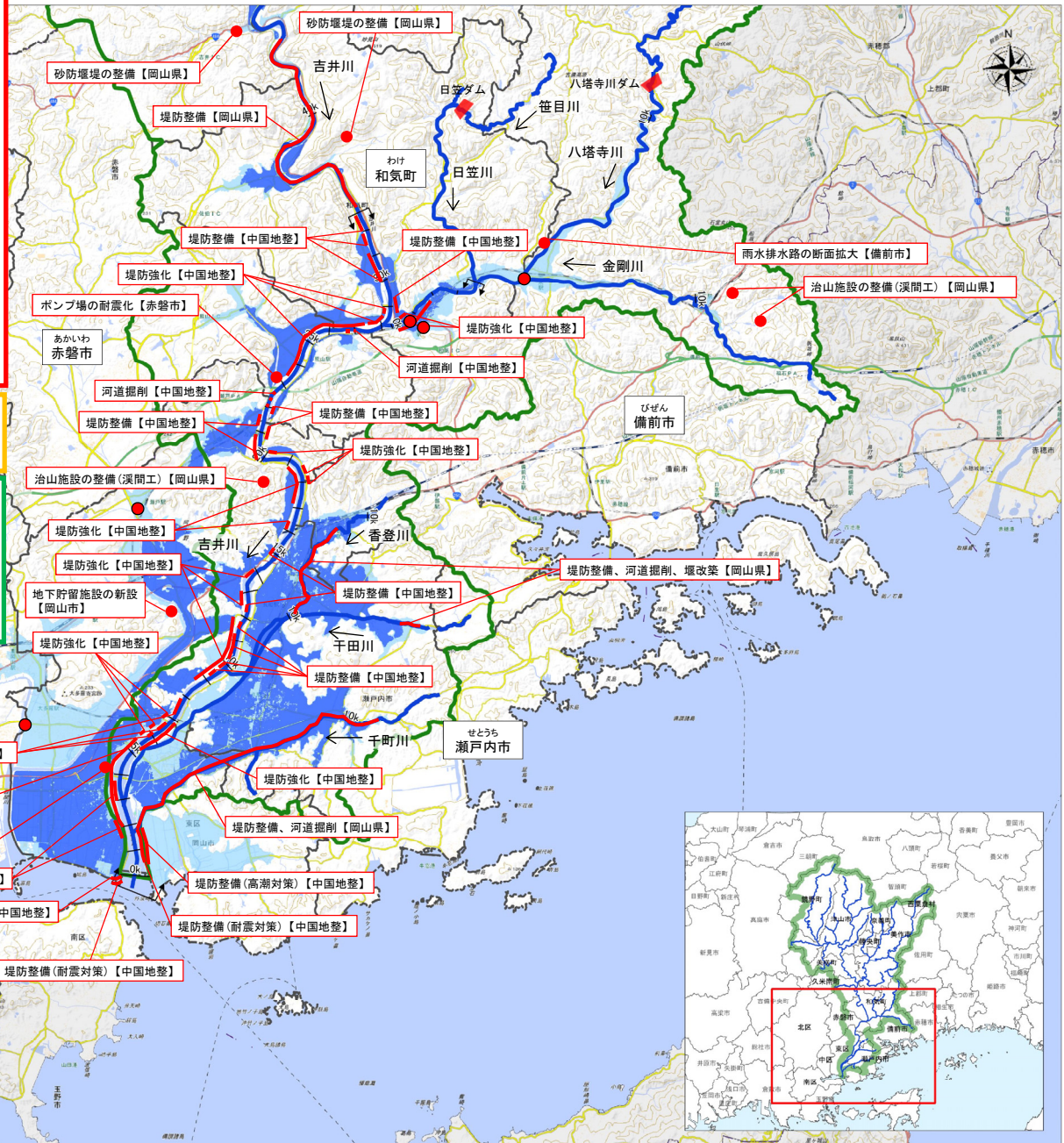
- ・堤防整備、堤防強化、河道掘削、堰改革【岡山県、中国地整】
- ・ポンプ場の耐水化・耐震化【岡山市、津山市、赤磐市】
- ・排水ポンプの新設・増設【津山市、和気町、美咲町】
- ・雨水排水路の断面拡大【津山市、備前市】
- ・用水路から雨水管渠への取水ゲートの遠隔操作化【岡山市】
- ・可搬式排水ポンプの配備【岡山市、赤磐市、美作市】
- ・土砂流出対策施設の整備（砂防堰堤・地すべり対策・治山施設）【岡山県、近畿中国森林管理局】
- ・利水ダム等13ダムにおける事前放流等の実施、体制構築【岡山県、中国電力(株)、土地改良区、中国地整等】
- ・地下貯留施設の新設【岡山市】
- ・用水路の事前水位低下による雨水貯留【岡山市】
- ・改修を行う農業用ため池について活用を検討
- ・大規模な開発行為等に伴う雨水流出抑制施設の整備に対する助成【岡山市】
- ・補助制度を活用した各戸貯留施設設置の推進【岡山市】
- ・森林の整備による洪水緩和機能の適切な発揮【岡山県、森林整備センター、近畿中国森林管理局】
- ・透水性舗装を用いた歩道整備【岡山市、中国地整】 等

■ 被害対象を減少させるための対策

- ・立地適正化計画に基づく浸水リスクを考慮したまちづくりの推進【岡山市、津山市】
- ・浸水リスクを考慮した立地適正化計画策定の検討【備前市、赤磐市】

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・止水板設置に対する助成【岡山市】
- ・避難路の整備【和気町】
- ・関係機関が連携したタイムラインの運用、改善
- ・水位計や河川監視カメラによる河川情報の提供
- ・マイ・タイムライン等による防災教育
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ・総合水防演習や講習等の実施による水防活動の強化 等

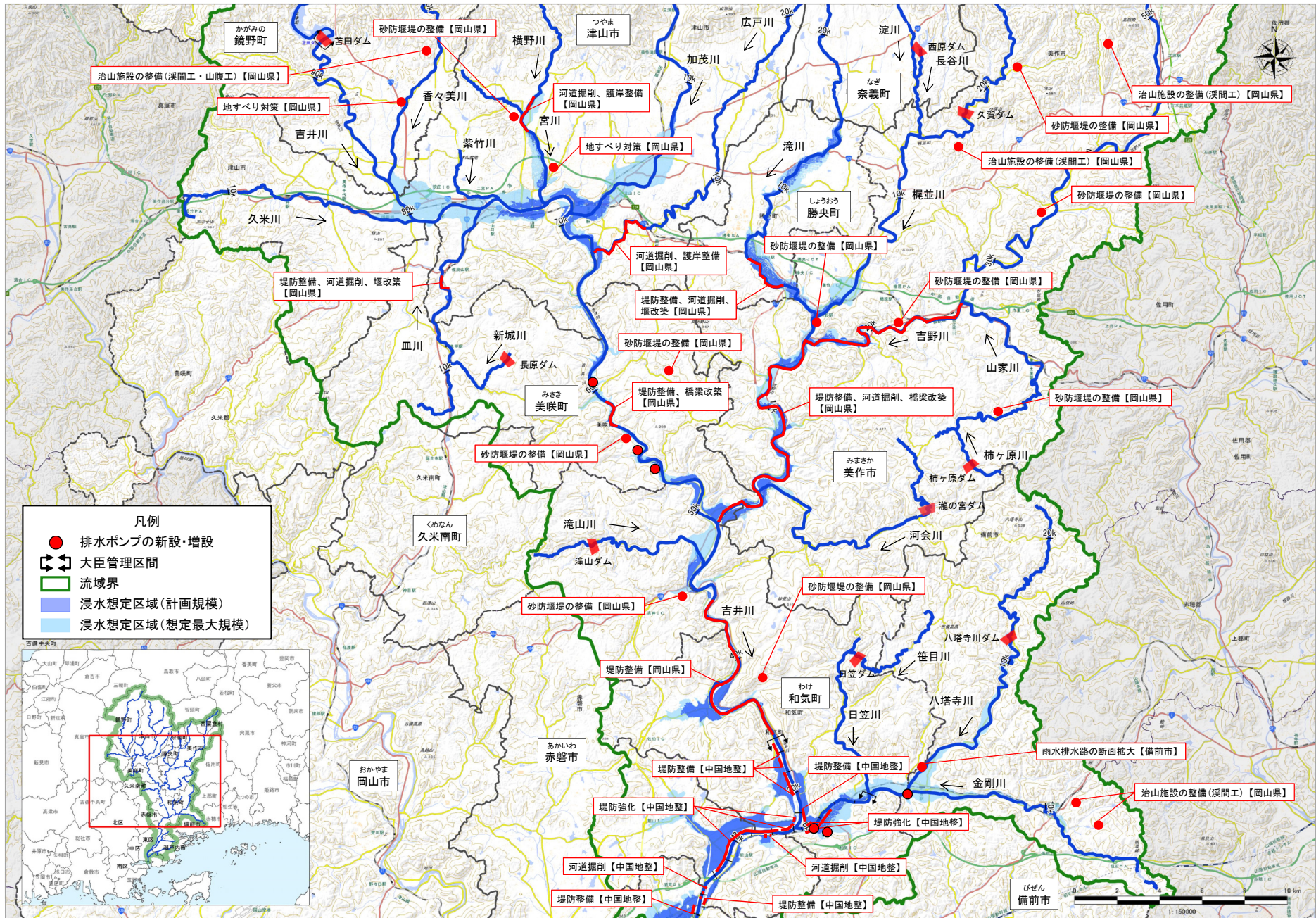


凡例

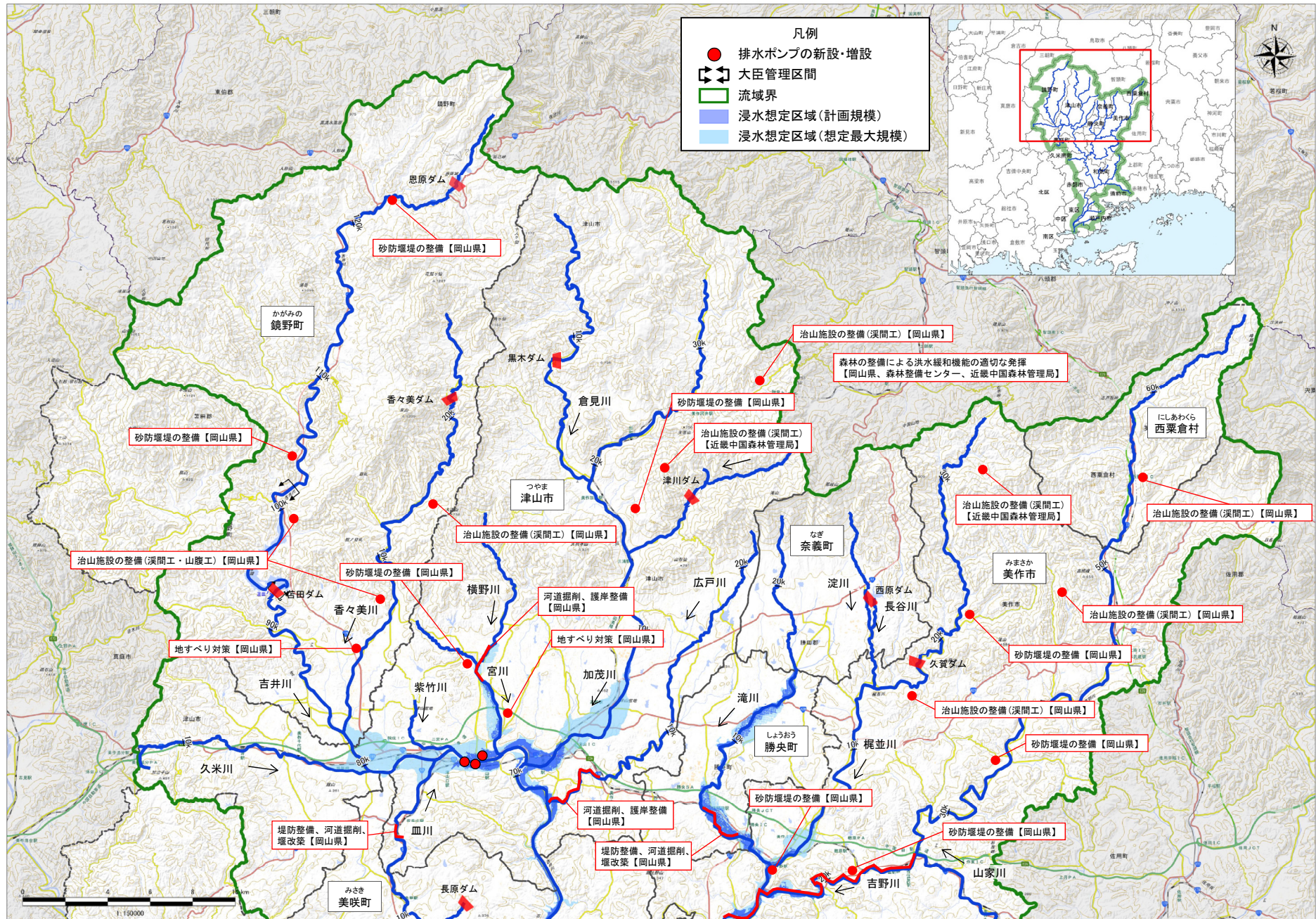
- 排水ポンプの新設・増設
- ◁▷ 大臣管理区間
- ▭ 流域界
- 浸水想定区域(計画規模)
- 浸水想定区域(想定最大規模)

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。※浸水想定区域は、洪水予報河川及び水位周知河川を表示している。※図面に記載の千町川、千田川、香登川は、洪水浸水想定区域図を作成中のため、未反映。

吉井川水系流域治水プロジェクト（案）【位置図（分割版）】（2/3）



吉井川水系流域治水プロジェクト（案）【位置図（分割版）】（3/3）



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。※浸水想定区域は、洪水予報河川及び水位周知河川を表示している。※図面に記載の千町川、干田川、香登川は、洪水浸水想定区域図を作成中のため、未反映。

旭川水系流域治水プロジェクト（案）【位置図】

～岡山の政治・経済・文化の中心地を守る流域治水対策の推進～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、旭川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 旭川は、岡山県中央に位置し、政治・経済・文化の中核を担う岡山市を流れ、一度氾濫が起これば、中国山地や盆地で形成される中上流部では氾濫水が貯留しやすく、また下流低平地に広範囲に浸水被害が広がりがつ長期化する特性を有している。
- 平成30年7月洪水で浸水被害が発生したことを踏まえ、堤防整備や河道掘削、内水被害を軽減する排水機能増強や用水路の事前水位低下などの事前防災対策を推進する。
- 以下の取り組みを実施していくことで、大臣管理区間においては、流域で甚大な被害が発生した平成30年7月洪水と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取り組みを実施し「逃げ遅れゼロ」を目指す。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・堤防整備、河道掘削、旭川中上流ダム再生【岡山市、岡山県、中国地整】
- ・雨水幹線の 신설、能力向上【岡山市】
- ・ポンプ場の耐水化・耐震化【岡山市】
- ・用水路から雨水管渠への取水ゲートの遠隔操作化【岡山市】
- ・土砂流出対策施設の整備【岡山県、近畿中国森林管理局】
- ・利水ダム等11ダムにおける事前放流等の実施、体制構築【岡山県、中国電力(株)等】
- ・貯留施設の 신설【岡山市】
- ・農業用ため池から河川管理施設の洪水調節地へ転換・運用【岡山市】
- ・用水路の事前水位低下による雨水貯留【岡山市】
- ・改修を行う農業用ため池について活用を検討
- ・田んぼダムの検討【赤磐市】
- ・大規模な開発行為等に伴う雨水流出抑制施設の整備に対する助成【岡山市】
- ・補助制度を活用した各戸貯留施設設置の推進【岡山市】
- ・森林の整備による洪水緩和機能の適切な発揮【岡山県、森林整備センター、近畿中国森林管理局】
- ・透水性舗装を用いた歩道整備【岡山市、中国地整】等

■被害対象を減少させるための対策

- ・立地適正化計画に基づく浸水リスクを考慮したまちづくりの推進【岡山市】
- ・浸水リスクを考慮した立地適正化計画策定の検討【赤磐市、真庭市】

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・止水板設置に対する助成【岡山市】
- ・関係機関が連携したタイムラインの運用、改善
- ・水位計や河川監視カメラによる河川情報の提供
- ・マイ・タイムライン等による防災教育
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ・総合水防演習や講習等の実施による水防活動の強化 等

立地適正化計画に基づく浸水リスクを考慮したまちづくりの推進【岡山市】



【位置図】



用水路水位の事前水位低下【岡山市】



マイ・タイムライン等による防災教育【岡山市への支援事例】



森林の整備による洪水緩和機能の適切な発揮【岡山県、森林整備センター、近畿中国森林管理局】

旭川中上流ダム再生【中国地整】

堤防整備、河道掘削【岡山県】

河道掘削【中国地整】

堤防整備、河道掘削、橋梁改築【岡山県】

堤防整備【中国地整】

堤防整備【中国地整】

河道掘削【中国地整】

河道掘削【岡山県】

堤防整備、河道掘削、橋梁改築【岡山県】

土砂流出対策施設の整備【岡山県、近畿中国森林管理局】

堤防整備、河道掘削、橋梁改築【岡山県】

堤防整備【中国地整】

河道掘削【岡山県】

貯留施設の 신설【岡山市】

地下貯留施設の 신설【岡山市】

地下貯留施設の 신설【岡山市】

地下貯留施設の 신설【岡山市】

地下貯留施設の 신설【岡山市】

地下貯留施設の 신설【岡山市】

地下貯留施設の 신설【岡山市】

- 凡例
- 排水ポンプの新設・増設
 - ◻ 大臣管理区間
 - ◻ 流域界
 - 浸水想定区域(計画規模)
 - 浸水想定区域(想定最大規模)

農業用ため池から河川管理施設の洪水調節地へ転換・運用【岡山市】

護岸整備【岡山市】

ポンプ場の耐水化・耐震化【岡山市】

堤防整備【中国地整】

地下貯留施設の 신설【岡山市】

堤防整備【中国地整】

河道掘削【中国地整】

河道掘削【岡山県】

貯留施設の 신설【岡山市】

地下貯留施設の 신설【岡山市】

地下貯留施設の 신설【岡山市】

地下貯留施設の 신설【岡山市】

地下貯留施設の 신설【岡山市】

地下貯留施設の 신설【岡山市】

地下貯留施設の 신설【岡山市】

地下貯留施設の 신설【岡山市】

地下貯留施設の 신설【岡山市】

地下貯留施設の 신설【岡山市】



平成30年7月洪水の浸水状況(国道250号砂川橋東側)

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。
※浸水想定区域は、洪水予報河川及び水位周知河川を表示している。

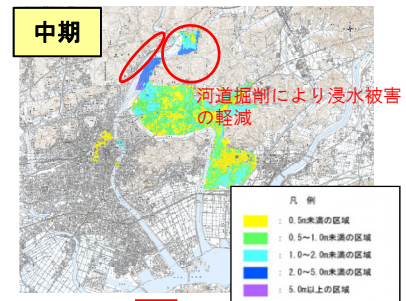
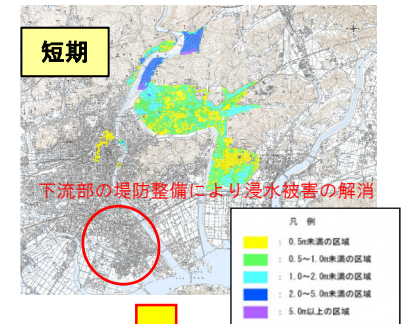
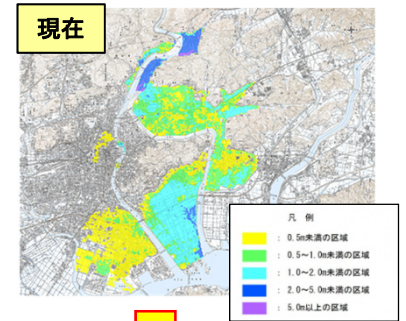
旭川水系流域治水プロジェクト（案）【ロードマップ・効果】

～岡山の政治・経済・文化の中心地を守る流域治水対策の推進～

- 旭川では、上下流本支川の流域全体を俯瞰し、流域に関連する機関が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】 浸水被害を防止・軽減するため、旭川水系下流部の堤防整備、砂川の改良復旧事業を実施。また、浸水リスクを考慮した立地適正化計画策定に向けた検討や計画に基づく浸水リスクを考慮したまちづくりの推進を図る。被害軽減策については、水位計や河川監視カメラによる河川情報の提供、マイ・タイムライン等による防災教育などを実施し、逃げ遅れゼロを目指す。
- 【中期・中長期】 旭川水系の浸水被害を防止・軽減するため、河道掘削、堤防整備、旭川中上流ダム再生事業等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。また、立地適正化計画に基づく浸水リスクを考慮したまちづくりの推進及び上記の被害軽減策について、継続的に実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	浸水被害を防止・軽減するため、堤防整備を実施	中国地整 岡山市	旭川下流部	倉安川	
	浸水被害を防止・軽減するため、堤防整備、河道掘削、橋梁改築等を実施	中国地整 岡山県		旭川下流・中流部	河川整備基本方針 に向けて対策を推進
	浸水被害を防止・軽減するため、旭川中上流ダム再生事業を実施	中国地整		旭川水系中流・上流部 (旭川・砂川・三谷川・誕生寺川・備中川)	
	改良復旧事業の推進	岡山県	砂川		
	内水被害を軽減するため、雨水幹線の 신설、能力向上、ポンプ場の耐水化等を実施	岡山市			
	土砂流出対策施設の整備	岡山県、近畿中国 森林管理局			
	農業用ため池から河川管理施設の洪水調節地へ転換・運用	岡山市			
	利水ダム等11ダムにおける事前放流の実施、体制の構築	岡山県、 中国電力(株)、 土地改良区			
	用水路の事前水位低下による雨水貯留	岡山市			
	大規模な開発行為等に伴う雨水流出抑制施設の整備に対する助成	岡山市			
被害対象を減少させるための対策	浸水リスクを考慮した立地適正化計画に向けた検討	岡山市、赤磐市、 真庭市	立地適正化計画策定済み (岡山市)	WEB配信の実施 適切な維持管理と継続的な提供 (岡山県、中国地整)	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水位計や河川監視カメラによる河川情報の提供	岡山県、中国地整			
	マイ・タイムライン等による防災教育	市町村(岡山県、 中国地整)	防災教育の実施(市町村) 出前講座等の実施(岡山県、中国地整)		

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

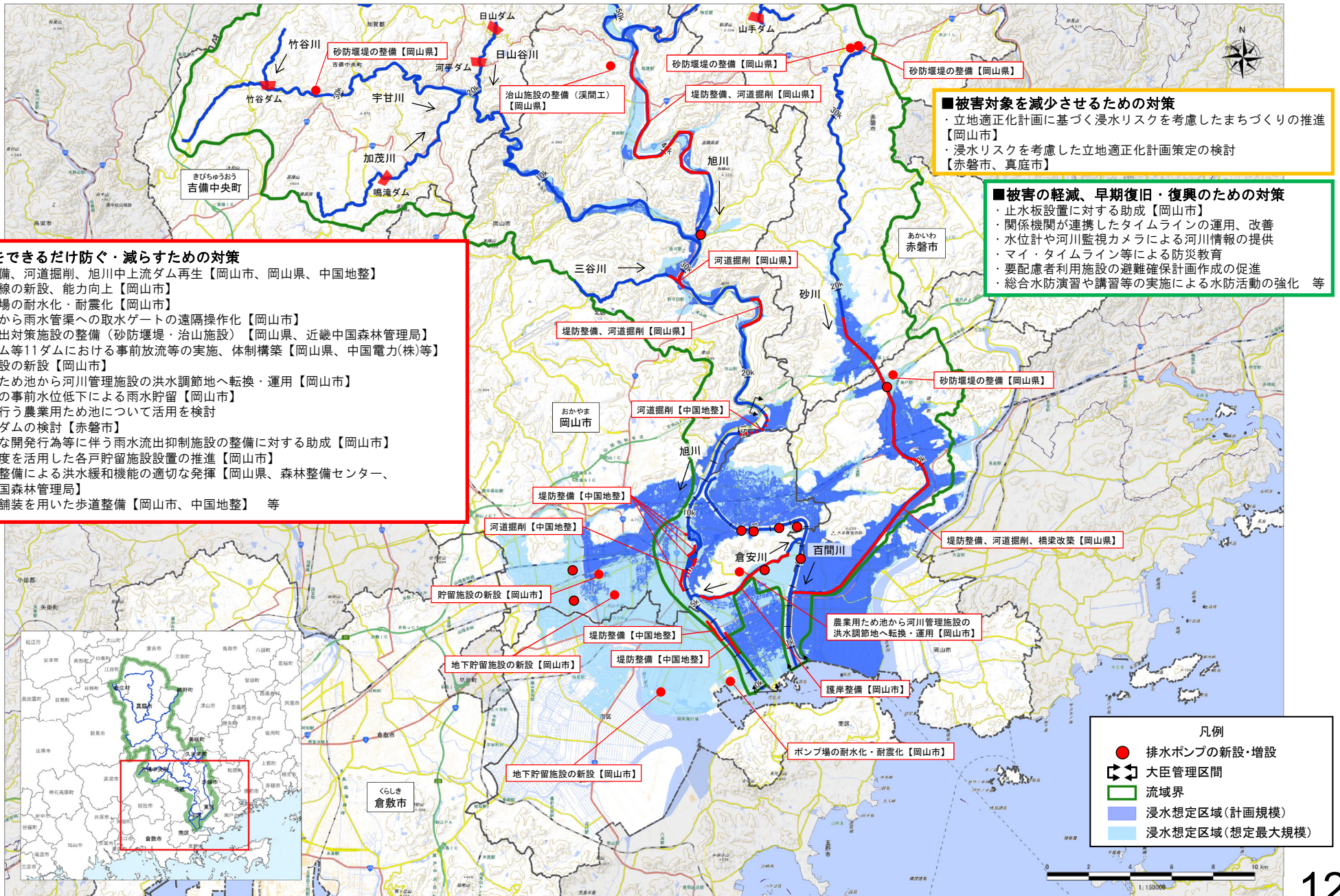


中長期

浸水被害解消

※大臣管理区間において、平成30年7月洪水と同規模の洪水発生時の浸水範囲イメージ

旭川水系流域治水プロジェクト（案）【位置図（分割版）】（1/3）



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・堤防整備、河道掘削、旭川中上流ダム再生【岡山市、岡山県、中国地整】
- ・雨水幹線の新設、能力向上【岡山市】
- ・ポンプ場の耐水化・耐震化【岡山市】
- ・用水路から雨水管渠への取水ゲートの遠隔操作化【岡山市】
- ・土砂流出対策施設の整備（砂防堰堤・治山施設）【岡山県、近畿中国森林管理局】
- ・利水ダム等11ダムにおける事前放流等の実施、体制構築【岡山県、中国電力(株)等】
- ・貯留施設の新設【岡山市】
- ・農業用ため池から河川管理施設の洪水調節地へ転換・運用【岡山市】
- ・用水路の事前水位低下による雨水貯留【岡山市】
- ・改修を行う農業用ため池について活用を検討
- ・田んぼダムの検討【赤磐市】
- ・大規模な開発行為等に伴う雨水流出抑制施設の整備に対する助成【岡山市】
- ・補助制度を活用した各戸貯留施設設置の推進【岡山市】
- ・森林の整備による洪水緩和機能の適切な発揮【岡山県、森林整備センター、近畿中国森林管理局】
- ・透水性舗装を用いた歩道整備【岡山市、中国地整】 等

■ 被害対象を減少させるための対策

- ・立地適正化計画に基づく浸水リスクを考慮したまちづくりの推進【岡山市】
- ・浸水リスクを考慮した立地適正化計画策定の検討【赤磐市、真庭市】

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

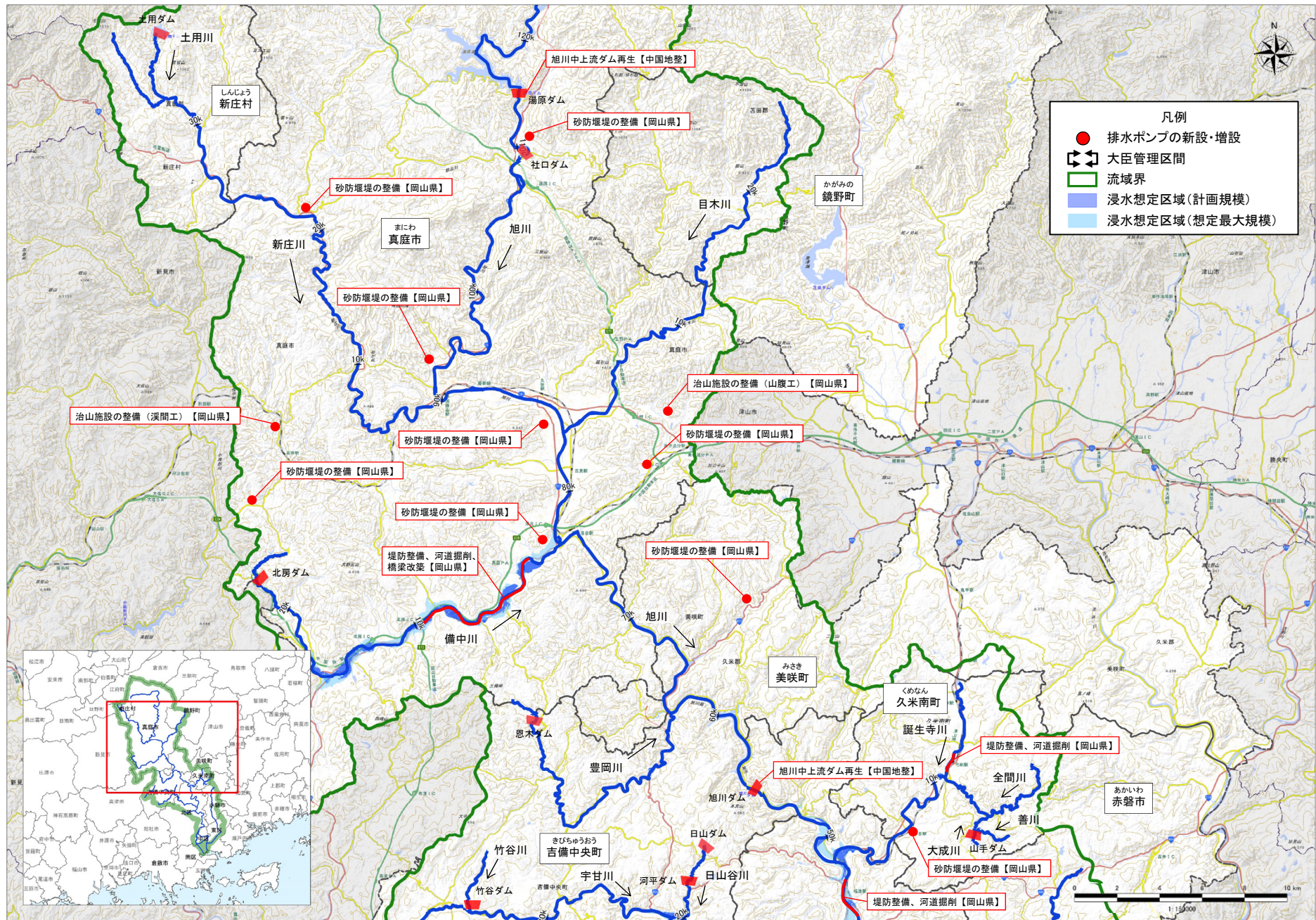
- ・止水板設置に対する助成【岡山市】
- ・関係機関が連携したタイムラインの運用、改善
- ・水位計や河川監視カメラによる河川情報の提供
- ・マイ・タイムライン等による防災教育
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ・総合水防演習や講習等の実施による水防活動の強化 等

凡例

- 排水ポンプの新設・増設
- ◻ 大臣管理区間
- ◻ 流域界
- 浸水想定区域（計画規模）
- 浸水想定区域（想定最大規模）

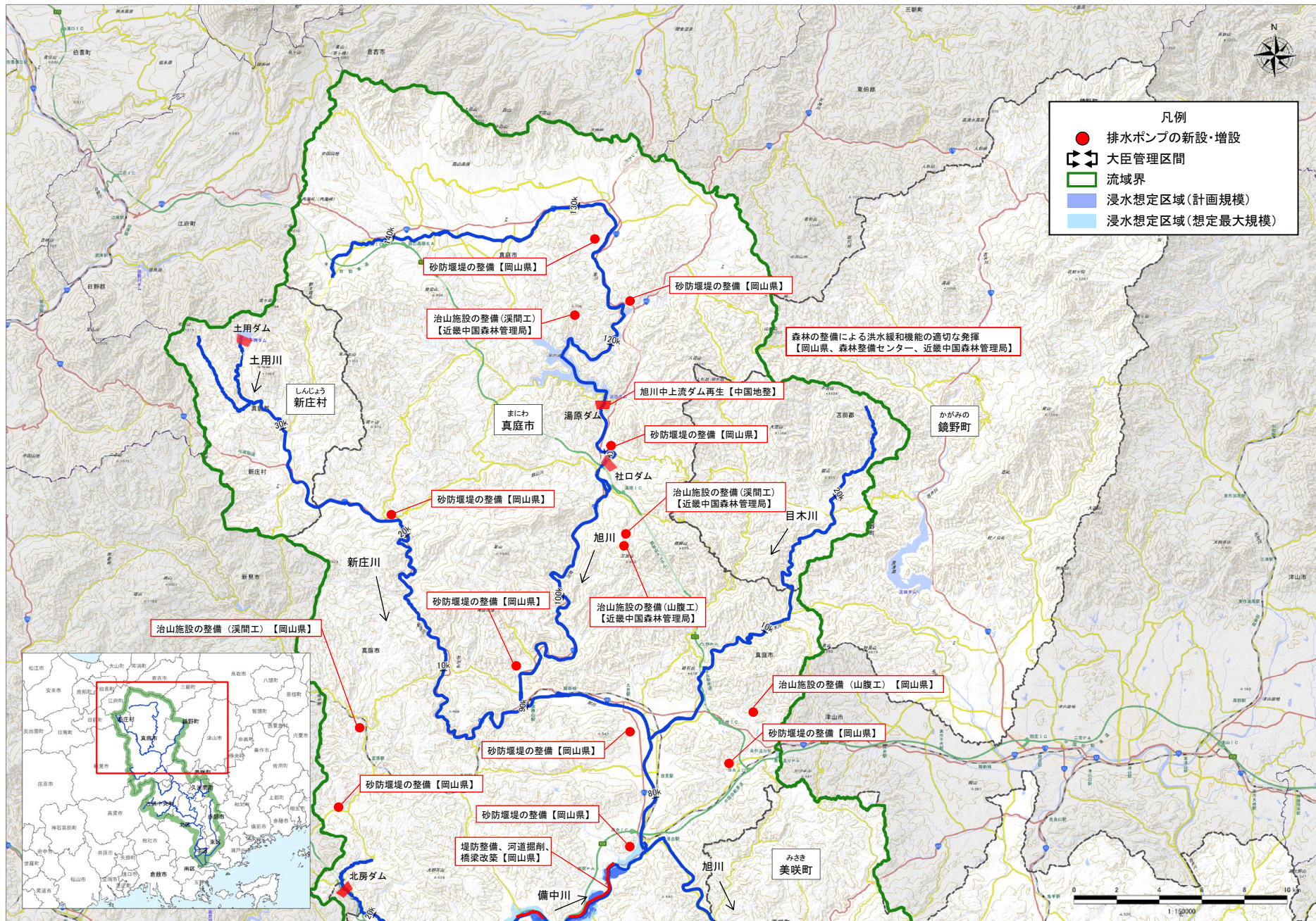
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。 ※浸水想定区域は、洪水予報河川及び水位周知河川を表示している。

旭川水系流域治水プロジェクト（案）【位置図（分割版）】（2/3）



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。 ※浸水想定区域は、洪水予報河川及び水位周知河川を表示している。

旭川水系流域治水プロジェクト（案）【位置図（分割版）】（3/3）



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。 ※浸水想定区域は、洪水予報河川及び水位周知河川を表示している。